

第4号議案

令和3年度事業活動計画

【全般的な活動について】

今年度も、容易にコロナが収束するとは思えません。

コロナの感染状況を判断しながら、一年間活動していきたいと思います。

先日コロナについてのセミナーを受講しましたが、このウイルスは非常に巧妙な攻撃を人類に対して行っていると思います。感染者と非感染者との見分けがつきにくい、どんどん変異して進化していく、重症化が突然現れるなど、対応が難しいウイルスです。

企業活動の仕方もここ数年で大きく変わると思われます。会議・ミーティングなどはオンラインが主流になるでしょう。先日、協力業者の見積りを見ると、打合せがオンラインの場合と、従来の対面方式の場合の2種類の見積りが提出されていました。コロナにかかわらずコスト削減のためには、オンラインは必然のこととなりつつあるようです。会員の皆様の企業体質改善の参考になるよう、小さな協会ですが、知恵を出し合って改革していきたいと思っています。

本年度活動方針

1. コロナ下での企業活動の在り方を議論する

状況を考慮しながら、設計事務所での在宅勤務のあり方や、オンライン会議のやり方など業務の効率化について会員相互で議論したいと思っています。

2. 会員増強に務める

協会の維持と存続のためには会員増強は欠かせません。本年もこの点を最優先に考え努力したいと思っています。

3. セミナーの充実を図る

許される範囲で各種のセミナーや見学会を企画したいと思っています。オンラインの併用も考慮したいと思っています。

若手所員向けの「技術者のための実践講習会」も是非開催したいと思っています。

4. 賛助会員による企業PRに務める。

「企業PRの会」を本年度も開催し、我々設計事務所の知らない新製品や材料、製品に対する知識を専門家の立場から発表していただき、我々の設計の参考にしていきたいと思っています。

5. 京都府、京都市との交流

可能な限り、京都府、京都市各課との意見交換会、懇談会も例年通り開催したいと思っています。また、建築4団体とも会合できる状況であれば懇談会を開きたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか現段階では予測できませんが会員の健康を考慮しつつ活動を行っていきたいと思っています。

会員の皆様のご協力をお願いします。

組織活動について

【総務部会】

1. 昨年度は総会後の懇親会を中止しました。ゴルフ親睦会は時期をずらし 11 月に行いました。しかし残念ながら、秋の研修旅行は中止し、新年会は日をずらして合同交流会として開催しました。今年度もまだ新型コロナウイルス感染が終息に向かっていません。したがって今後の推移を注視しながら、昨年同様中止あるいは開催時期をずらす等、個々に検討してまいります。昨年に引き続き困難に対処しつつ、会員、協力会員、賛助会員との情報交換の充実や活性化の為に努力して参ります。
2. 情報サロン・企業 PR の会は昨年度、コロナ禍の中積極的なご参加を頂きました。深く感謝申し上げます。今年度も新型コロナウイルスの状況によりますが、可能な時期を逃さず開催したいと考えております。賛助会員様のご協力、ご支援をより一層賜りますようお願い致します。技術研修部会とも連携を図り、引き続き正会員・協力会員・賛助会員との連携、親睦を深め、技術情報の交換や、新商品の PR 等の機会を増やし、会員事務所の研鑽の場として充実させて参ります。
3. 今年度も新型コロナウイルス対策の影響を考慮し、事業費を縮小しています。会員の増強による収入増加と効果的な支出に一層努力し、財政の健全な運営に努力して参ります。会員事務所、協力会員、賛助会員様の益々のご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

【情報交流部会】

新型コロナウイルス感染症による感染防止対策の実施が叫ばれている現在、例年通り実施できるか不安を感じていますが積極的に参加、行動します。

会員様のご参加、御協力をお願い致します。

1. 京都府との懇談会、京都市との意見交換会を本年も実施し、最新の情報や意見交換を計り、相互理解を深めます。
2. 京都市建築物安全安心実施計画会議等に委員として参加し、建築物の質の向上や安全性の向上に協力し、安全で安心な街づくりに参加します。
3. 府・市・その他関連団体へは当会の活動や協力会員のより詳細な情報提供を行い、社会的認知度向上や専業事務所の意義を訴えます。
4. 理事会報告を毎月ニュースレターとして発行し会員への広報を行います。
5. ホームページを定期的に更新し最新の協会情報を発信します。
6. 建築関係団体協議会に参加し各団体の交流と情報交換の活性化を目指します。
7. 京都弁護士会からの委嘱を受け、住宅紛争処理委員の建築士委員として協力します。
8. 京都市立京都工学院高等学校の生徒の受入れに本年も協力します。

【事務所運営研究】

近年、設計事務所に課せられる業務は広範で高度化を求められています。将来その傾向は強まると考えられます。設計事務所は社会環境の変化を的確にとらえ問題提起し解決策を考えます。会員の皆様からの御協力を御願い致します。

【技術研修部会】

〔講習会〕〔見学会〕〔国際交流委員会〕〔次世代委員会〕の4つの活動を行います。
新型コロナウイルスの感染拡大は、社会、経済や日常生活に大きな影響を及ぼしておりますが、会員の安全確保を最優先に考えた上で、皆様に有益な事業を実施します。

〔講習会〕

令和の時代において先導的な役割を担えるよう、理論的であり高度な技術を勉強できる場をつくりたいと考えています。

1. 令和3年度は「業界の健全な繁栄を図る上で大切となる知識や技術が得られる講演会」を企画し、年3回のセミナー（講習会）を企画開催したいと考えています。開催時期は例年同様に、組合との共催で年3回（7月、10月、1月頃）実施したいと考えています。

〔見学会〕

当協会の特色を生かした 建築・工場等の見学会を企画いたします。

1. 国際都市として国際交流にも配慮した見学会を2回程度開催したいと考えています。
※ 「講習会の内容」や「見学したい話題の建物や現場」についてのご要望があれば、担当理事までご連絡いただきますようお願い致します。

〔国際交流委員会〕

建築に関心がある海外の方々と「建築」を通じて直接的な交流ができる企画を立てます。

1. 建築界（建築設計監理業界を含めて）における“人手不足”問題に対応できる海外からの人材の就労についての勉強会を行いたいと考えています。

昨今、各企業において、日本国内での人材不足が近々の問題であり外国人の就労を求めることも必要な情勢であります。また、一方では世界のグローバル化が進むと共に、ITの発展による情報の受信、発信の簡易化 更にその拡散も見られます。

新型コロナの影響はあるものの、国際都市としての京都の位置付けは変わりません。そこで当委員会として以下の目的に寄与する事業を考え、活動したいと考えています。

－KSK 会員の国際的感覚への一層なる思いを喚起する。

－海外からの留学生へ日本の建築について情報発信

－海外からの就業者への協力とその受け入れへのKSK会員の勉強等

[次世代委員会]

「実務者のための実践報告会」の実施に向けて企画及び実施したいと考えています。

1. 次世代が実務を行う上で重要となる BIM (Building Information Modeling) の動向や導入に際しての実際を紹介する機会を引き続き設けます。

賛助会員と連携した実務者向けの見学会や、意見交換会や交流会なども、随時開催が可能です。そのような企画の着想がありましたら、ぜひ次世代委員会にご提案ください。また、参加事務所の呼びかけを続けて参りますのでご協力をお願いいたします。

[京都市景観デザイン会議]

令和3年度も同様に景観デザイン会議、景観市民会議、景観デザイン作業部会等に参加いたします。

1. 条例の改正にともなう景観デザインの施策などに対して議論を深め、実務を通して京都市街地の良好な景観の形成が図れるよう活動したいと考えています。
2. 今回の条例で追記された景観デザインレビュー制度などにおける諸問題に関しても専門委員として、協会の一員である事を忘れず真摯に参加及び活動、提言していきたいと考えています。